

記入例

※記入例の注記を確認し、太字箇所を記入すること

様式第1号（第1条関係）

道路占有 **許可申請** 書
協 議

| | | | |
|----|----|----|-------|
| 新規 | 更新 | 変更 | (番号) |
| | | | 年 月 日 |

令和〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 狭山市長

住所 〒350-1380
 埼玉県狭山市入間川1-23-5

氏名 株式会社〇〇〇
 取締役社長 〇〇 〇〇

担当者 △△△株式会社 〇〇 〇〇
 電話 04-2953-1111

道路法 **第32条** の規定により **許可を申請** します。
第35条 協 議

| | | | |
|-------------|----------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 占有の目的 | 上水道供給のため ※注4参照 | | |
| 占有の場所 | 路線名 | 狭山市道 A 第100号線 | 車道 ・歩道・その他 |
| | 場所 | 狭山市 入間川一丁目3333-1番地先 ※注6参照 | |
| 占有物件 | 名称 | 規模 | 数量 |
| | 給水管HIVP 給水管VP | 設置Φ20 撤去Φ20 | 3.0m 3.0m |
| 占有の期間 | 許可日から 令和〇年3月31日まで | 占有物件 の構造 | 耐衝撃性硬質塩化ビ ニル管 |
| 工事の期間 | 許可日から 令和〇年〇月〇日まで | 工事实施 の方法 | 別添のとおり |
| 道路の 復旧方法 | 道路管理者の指示による ものとする | 添付書類 | 案内図・公図の写 し・平面図・委任 状・構造図 |
| 備考 | | | |

道路占用許可（協議）申請書 記入例の注記

注1 「許可申請」「第32条」「許可を申請」については、該当するものを○で
協 議」、第35条」、協 議」 囲むこと。

注2 「

| | | |
|----|----|----|
| 新規 | 更新 | 変更 |
|----|----|----|

」については、該当するものを○で囲み、更新・変更の場合には、
従前の許可書又は回答書の番号及び年月日を記載すること。

注3 申請者が法人であり、申請を委任していない場合には、「住所」の欄には主たる事務所の
所在地を、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄には
所属・氏名・電話番号を記載すること。

申請者が個人もしくは法人であり、申請を委任している場合には、「担当者」の欄には委任を
受けた事業者の事業者名および担当者氏名を記載し、担当者の電話番号を記載すること。

注4 占用目的の記載例は以下のとおりとする。

- ・給水：上水道供給のため
- ・下水：公共下水道管への排水のため、一般下水道管への排水のため
- ・ガス：都市ガス供給のため、プロパンガス供給のため
- ・電気：電力供給ため

注5 「車道・歩道・その他」については、該当するものを、○で囲むこと。

注6 「場所」の欄には、占用場所に一番近い地番を記載すること。また、道路に地番がある場合は、
道路の地番を記載すること。（○○番地）

占用が2箇所以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。

（○○番地先から○○番地先まで）

注7 占用物件は、名称、規模、数量を記載し、面積は不要とする。

注8 占用の期間は年度末（3月31日）までとし、上下水道は10年、ガス・電気、光ケーブ
ルは5年、その他は3年とすること。

注9 工事の期間は工事を行う上で必要な期間とすること。（工事抑制期間を考慮すること。）

注10 占有物件の構造は、耐衝撃性硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の
占用している物件の構造を記載すること。

注11 「添付書類」の欄には、案内図、公図の写し、平面図、委任状、物件の構造等を明らかに
した図面、その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。